

平成26年度進行管理・評価シート
堺市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 (項目名) 歴まち計画の円滑な推進に向けた組織体制に関する取組み	1
------------------------------------	-------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 (項目名) 都市計画・景観計画等との連携および屋外広告物法に基づく施策との連携	2
---	-------	---

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 (項目名) 百舌鳥古墳群整備事業	3
2 (項目名) 歴史的建造物保存修理事業	4
3 (項目名) 市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み	5
4 (項目名) 堺市地域文化遺産活用活性化事業	6
5 (項目名) ボランティアガイドの育成・支援	7
6 (項目名) 堺市地場産業振興事業補助事業	8
7 (項目名) 堺市伝統産業後継者育成事業補助事業	9
8 (項目名) 堺市ものづくりマイスター制度	10
9 (項目名) 視点場の整備に関する調査検討	11
10 (項目名) 百舌鳥古墳群水質改善事業	12
11 (項目名) まちなみ再生事業	13
12 (項目名) ザビエル公園再整備事業	14
13 (項目名) 宿院町公園再整備事業	15
14 (項目名) 阪堺線停留場美装化事業	16
15 (項目名) 紀州街道沿道の景観づくり	17
16 (項目名) 百舌鳥古墳群に関する情報発信	18
17 (項目名) 百舌鳥古墳群周辺案内板の整備	19
18 (項目名) 百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備	20
19 (項目名) 環濠都市区域内における案内板の改善	21
20 (項目名) 史跡・重要文化財等公開事業	22
21 (項目名) コミュニティサイクルポート整備事業	23
22 (項目名) 自転車通行環境の整備	24
23 (項目名) 文化観光拠点整備事業	25
24 (項目名) 学校教育の場での茶の湯体験	26

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 (項目名) 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	27
2 (項目名) 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業	28
3 (項目名) 文化財の防災	29
4 (項目名) 埋蔵文化財の取扱い	30
5 (項目名) 文化財に関する普及・啓発の取組み、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組み	31

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	32
----------------------	-------	----

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	33
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度 平成25年度・平成26年度

項目	現在の状況
歴まち計画の円滑な推進に向けた組織体制に関する取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 計画実現のための推進体制として、歴史まちづくり法第11条第1項に基づく「堺市歴史的風致維持向上計画協議会」を「堺市歴史的風致維持向上協議会」に改編し、事業の進捗管理や連絡調整、計画変更に関する協議を行う。

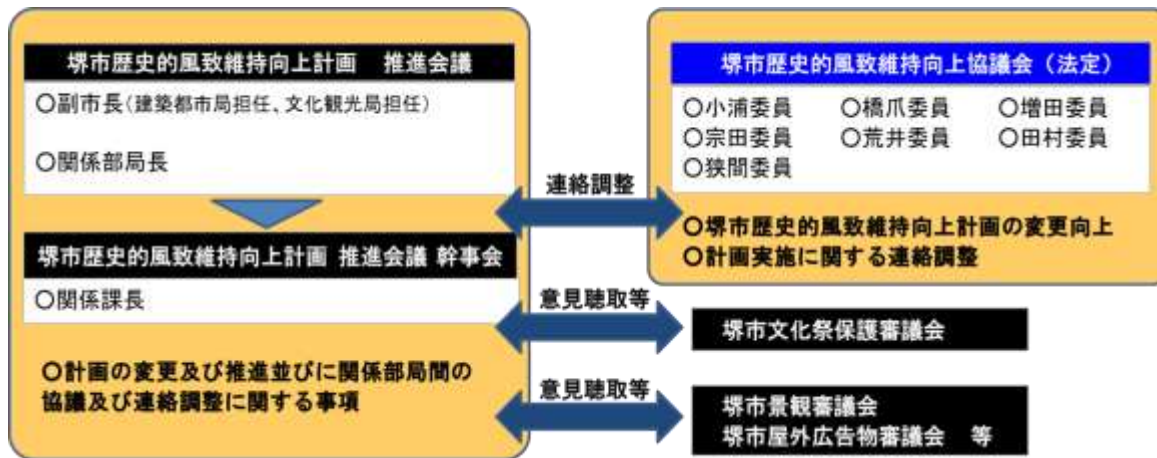
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

堺市歴史的風致維持向上計画協議会および庁内委員会における議論等を経て計画を作成し、平成25年11月に国の認定を頂いた。平成26年4月より、堺市歴史的風致維持向上協議会を設置するとともに、建築都市局担任副市長および文化観光局担任副市長を会長・副会長として、関係局長が委員として加わる堺市歴史的風致維持向上計画推進会議を立ち上げ、推進体制を強化。5月に推進会議立ち上げの会議を開催し、今後の取組みの方向性等を確認したほか、7月には次年度の予算要求も踏まえた事業予定について情報共有・意見交換をおこなった。また、平成27年2月及び3月には、推進会議及び堺市歴史的風致維持向上協議会を開催し、進行管理・評価等を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■新たな推進体制



■堺市歴史的風致維持向上計画推進会議の開催

○平成26年5月8日
堺市歴史的風致維持向上推進会議 開催



○平成26年7月28日
堺市歴史的風致維持向上推進会議 開催



○平成27年2月10日
堺市歴史的風致維持向上推進会議 開催



○平成27年3月23日
堺市歴史的風致維持向上協議会 開催



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成25年度・平成26年度
項目		現在の状況	
都市計画・景観計画等との連携、および屋外広告物法に基づく施策との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 重点区域について、景観計画の取組みと連携し、歴史的風致の維持向上を図る。地域特性を踏まえた景観形成基準を策定し、都市計画法や景観法に基づく各種手法を活用するほか、景観重要建造物の指定や屋外広告物のあり方などを検討するなど、きめ細かい景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●百舌鳥古墳群及び周辺区域について、世界文化遺産登録も視野に、古墳のあるまちとして相応しい景観づくりの一環として以下の取組みを実施中。

- ・高度地区の活用により、建築物の高さに関する制限案を作成
- ・景観地区の活用により、建築物の色彩などの形態意匠に関する制限案を作成
- ・屋外広告物許可基準等の見直しをおこない、土地利用に応じた制限案を作成

上記に関する説明会をはじめ、都市計画審議会、景観審議会、屋外広告物審議会を開催するなど、平成28年1月からの新たな制限等の施行に向け、計画通り進捗。

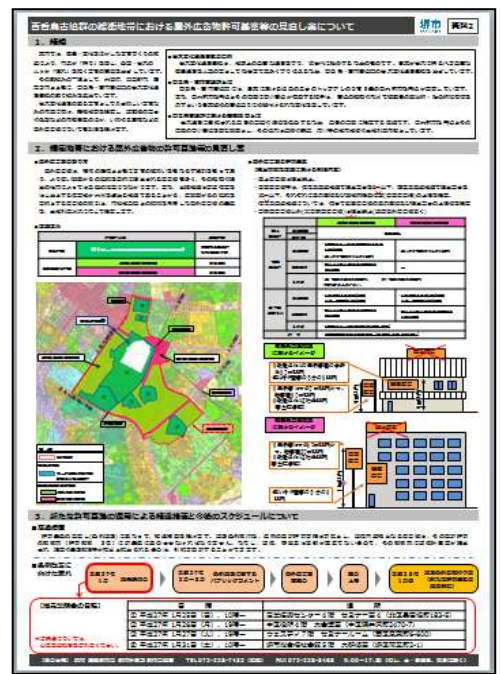
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○平成26年 5月～6月 百舌鳥古墳群及び周辺地域に関連する制限内容等に関する説明会を実施(計12回)

○平成26年 5月～11月 都市計画審議会開催(計3回)
 ○平成26年 7月～10月 景観審議会開催(計2回)
 ○平成26年 8月～11月 屋外広告物審議会を開催(計2回)

○平成27年 1月 百舌鳥古墳群の緩衝地帯における都市計画素案(高度地区の変更及び景観地区の決定)、並びに百舌鳥古墳群の緩衝地帯における屋外広告物許可基準案に関する説明会を実施(計4回)



百舌鳥古墳群の緩衝地帯における都市計画素案(高度地区の変更及び景観地区の決定)に関する説明会資料

百舌鳥古墳群の緩衝地帯における屋外広告物許可基準案に関する説明会資料

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
百舌鳥古墳群整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成24年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	百舌鳥古墳群の整備基本計画及び保存管理計画を策定し、古墳の整備及び修景、並びに適切な維持管理を行う

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年1月から「堺市百舌鳥古墳群保存整備委員会」を5回開催し、『国指定史跡百舌鳥古墳群保存管理計画』の策定を進めている。計画は平成26年度に策定。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



堺市百舌鳥古墳群保存整備委員会

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～平成34年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域において、歴史的街なみを構成する上で重要な鉄砲鍛冶屋敷(井上家住宅)をはじめとした歴史的価値の高い建造物について保存修理を行い、活用を図る。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

保存修理工事に向けて所有者と協議中。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	山口家住宅や清学院とともに、堺環濠都市を代表する歴史的建造物である「鉄砲鍛冶屋敷」の保存に向けた整備方針等について所有者と継続的に協議。平成26年度は所蔵する鉄砲関係等の歴史資料の概要把握調査を実施。

状況を示す写真や資料等



鉄砲鍛冶屋敷 歴史資料調査の様子

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成17年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	古墳を将来にわたり末長く保存・管理していくためには、地域住民を中心に市民の理解と協力が必要である。そのため、市ではシンポジウムや講演会を開催し、百舌鳥古墳群や各々の古墳について市民が学び、考える機会を創出する。また市民ボランティアが中心となって実施する古墳の清掃・美化活動について、ホームページへの掲載等の広報活動を行い、市民と行政が協働した保存管理に向けた相互の意識醸成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

◎シンポジウムや講演会の開催
 平成25年10月26日(土)、第3回国際シンポジウム(藤井寺市立市民総合会館) 参加者293人
 平成26年3月1日(土)、第7回世界遺産講演会(堺市産業振興センター) 参加者100人
 平成26年11月24日(月・休)、第4回国際シンポジウム(四天王寺大学大講堂) 参加者580人

◎仁徳天皇陵古墳周辺の清掃活動について、プレスリリースや堺市ホームページへ情報を掲載
 平成25年11月3日(日)、第16回清掃活動 参加者328人
 平成26年3月9日(日)、第17回清掃活動 参加者350人
 平成26年11月2日(日)、第18回清掃活動 参加者360人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	シンポジウムや講演会については、元々、百舌鳥古墳群に関心のある層が応募、参加される傾向にある。今後は、関心のあまりない層に対しても、PR活動を行っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



第3回国際シンポジウム(藤井寺市立市民総合会館)



第4回国際シンポジウム(四天王寺大学大講堂)



第7回世界遺産講演会(堺市産業振興センター)



市民による清掃活動の様子

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目	現在の状況	
堺市地域文化遺産活用活性化事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成26年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業

計画に記載している内容 伝統文化の保存伝承団体等により構成される「堺市地域文化遺産活性化実行委員会」(事務局:堺市文化部)が、地域文化遺産の保存伝承を目的に事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・地域の文化遺産普及啓発事業
 ・文化遺産継承事業
 ・地域の文化遺産記録作成・調査研究事業
 記録作成事業のうち神輿渡御祭記録作成・調査研究事業は、環濠都市区域に古くから伝わる伝統的な活動である「神輿渡御祭」について、その歴史的経緯や現在の活動の実態の記録を作成し、今後の保存伝承に繋げる。関西大学と連携し、平成26年度は神輿渡御をはじめとする住吉祭の記録、写真撮影を実施し、概要報告を作成。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



神輿渡御祭調査

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
ボランティアガイドの育成・支援		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成7年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 本市では、(公社)堺観光コンベンション協会、NPO法人堺観光ボランティア協会と連携し、歴史文化資源を中心に市内の主な観光スポットでボランティアガイドが案内を行っている。
 今後、本市の歴史文化資源に関する市内外への発信等に伴い、来訪者の増加も見込まれることから、更なるボランティアガイドの育成や、月1回程度の情報交換会の実施、新たな施設の実地研修などを通じて、その知識や技能の向上に向けた取り組みを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度研修実績
 ○堺観光ホスピタリティ・ガイド養成講座 (ボランティアガイド養成講座:2回(計39日間)、参加人数 計103名)
 ○基本研修(公開講演会:1回 参加人数:計300名、全体研修:3回 参加人数 計181名)
 ○その他研修(他都市等のボランティアガイドとの交流研修:参加人数 計99名)

平成26年度研修実績
 ○堺観光ホスピタリティ・ガイド養成講座 (ボランティアガイド養成講座:1回(計17日間)、参加人数:計22名)
 ○基本研修(公開講演会:1回 参加人数:計360名、全体研修:3回 参加人数:計169名)
 ○その他研修(他都市等のボランティアガイドとの交流研修:参加人数 117名、中国語・韓国語の語学研修:参加人数 428名)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	来訪者の満足度向上につなげて行く必要がある。

状況を示す写真や資料等

【ガイド募集の記事(広報さかい12月号)】

【研修の様子】

**堺観光ボランティアガイド
入門講座**



ボランティアガイドとして活動するために必要な知識と心構えを学びます【写真】。1月下旬～3月の全17回。事前説明会は12月17日、堺山之口商店街子育て支援施設(堺区大町東2丁1-8)で、12月21日、総合福祉会館(堺区南瓦町2-1)で、14～16時に開催。いずれかの事前説明会への参加が必要。費1,500円。
 ④⑤で必要事項と説明会の参加希望日を12月2～15日に堺観光ボランティア協会(☎233-0531 ✉Isakaikvk@nposakai.org)へ。宛40人。
 ④同協会か堺観光コンベンション協会(☎233-5258 FAX233-8448)。



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
堺市地場産業振興事業補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	刃物や線香等をはじめとする地場産業を営む中小企業者により組織された団体の事業活動にかかる経費の一部を補助することにより、地場産業の振興を図る。 【補助対象事業】 ①地場産業振興事業・・・経営の近代化・合理化、販路開拓、情報収集に関する事業 ②ものづくり基盤技術継承事業・・・後継者の育成や技術・技法の記録、収集、保存に関する事業		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度 刃物、自転車など市内地場産業8団体に対し、本補助金を交付し、事業活動を支援した。 平成26年度 刃物、自転車など市内地場産業8団体に対し、本補助金を交付決定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○地場製品の販路開拓を目的としたイベントの開催、出展			
○市内施設等での地場製品の展示			
○経営の合理化を目的とした研修会の開催			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
堺市伝統産業後継者育成事業補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 刃物(経済産業大臣指定伝統的工芸品)や線香(大阪府知事指定伝統工芸品)などの伝統技能の継承を図るため、後継者を雇用した事業所に人件費の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度 市内伝統産業事業者に対し、本補助金を19件交付し、後継者育成を支援した。
 平成26年度 市内伝統産業事業者に対し、本補助金を20件交付決定した。(平成26年12月現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○刃物(刃付け)技法の指導育成



○染色(注染)技法の指導育成



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
堺市ものづくりマイスター制度		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成14年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	伝統産業への市民等の理解を深めるため、市が卓越した技能を持つ者をマイスターとして認定し、実演・体験講座などの講師として派遣する。平成24年12月現在で対象とする刃物、線香等の部門で伝統工芸士ら19名を認定している
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度 派遣等件数	117件	参加人数	3,592人
平成26年度 派遣等件数	86件	参加人数	2,279人(平成26年12月現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○小学校での刃物講座



○線香づくり講座



○和菓子づくり体験講座



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
		項目	現在の状況
		視点場の整備に関する調査検討	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

古墳あるいは古墳群を望むことができる視点場(ビューポイント)について、必要な調査検討を行う。古墳の形態的な特徴を一番理解し捉えられる場所(例えば古墳の前方部と後円部のくびれ部にある「造り出し」から上空への広がりを見望する場所)や古墳あるいは古墳群の持つスケールの大きさなどを体感できる場所について調査を行い、江戸時代の絵図も参考に古墳がかつてどのように見られてきたかという視点を持ちながら、視点場としての整備が必要な箇所について、周遊路整備との整合を図りながら、その整備手法等についても検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

百舌鳥古墳群のうち大型古墳6基を結ぶ周遊ルート上に視点場としてふさわしい場所を1か所抽出した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成27年度、抽出したポイントにおける視点場整備についての設計に着手する。また、引き続き周遊ルート上における視点場としてふさわしい場所の検討を進める。

状況を示す写真や資料等



視点場整備検討位置図

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
百舌鳥古墳群水質改善事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 百舌鳥古墳群の水質改善に向け、目標とする水量及び水質を検討し、外部から古墳の濠への水の導入、濠の水の循環などについて調査研究を行う。そして、個々の古墳の状況に適した手法により、濠の水量の確保と水質保全を図るために必要となる水源及び浄化施設等導入の検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

以下の項目を水質基準として定め、百舌鳥古墳群(仁徳天皇陵古墳)の水質改善を図ることとした。

1. 臭気(悪臭)の発生がないこと。
2. 植物プランクトンの異常増殖がないこと。

上記の水質基準をもとに、仁徳天皇陵の第3濠正面において、クロフィルa濃度100μg/L以下にするために水質改善シミュレーションを実施。経過:各古墳の水質改善手法の検討を行い、仁徳天皇陵の水源である芦ヶ池の水質改善手法の検討を実施。平成26年度に仁徳天皇陵において工業用水や浄化装置を用いて、いくつかのパターンで費用も含めた水質改善シミュレーションを実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各古墳管理者との調整

状況を示す写真や資料等

各古墳の現況:アオコが広く繁茂している



仁徳天皇陵古墳



仁徳天皇陵古墳



履中天皇陵古墳



いたすけ古墳



ニサンザイ古墳



御廟山古墳

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
まちなみ再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～平成34年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域のうち、改修が進められた町家歴史館「山口家住宅」をはじめとする町家のほか、多くの寺社が立地する寺町など、歴史的建造物が多く残る北部とその周辺について、歴史文化資源を活かしたまちなみの再生を図ることにより、堺の魅力向上を実現する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 平成25年度より、堺環濠都市北部地区の歴史的なまちなみの再生について、地域住民とともに考えるため、「歴史的なまちなみ勉強会」を計5回開催。
 平成26年度には、地域住民が中心となった「堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会」が設立。まちなみのルール(ガイドライン)づくりに向け、分科会、ワークショップを計6回開催。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■堺環濠都市北部地区における歴史的なまちなみの再生に向けた取組み

○これまでの取組み

	市主体の取組み	地域住民主体の取組み
平成25年3月	第1回歴史的なまちなみ勉強会開催	
平成25年6月	第2回歴史的なまちなみ勉強会開催	
平成25年10月	第3回歴史的なまちなみ勉強会開催	
平成25年10月～		協議会に向けた準備会活動開始
平成25年11月		水彩画展示及びクイズラリー開催(情報発信・啓発イベント)
平成26年2月	第4回歴史的なまちなみ勉強会開催	
平成26年5月	第5回歴史的なまちなみ勉強会開催	堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会設立総会開催
平成26年5月～		協議会活動開始
平成26年7月		協議会ニュース発行
平成26年8月		第1回まちなみガイドライン作成分科会開催
平成26年8月		第1回ワークショップ開催
平成26年9月		協議会ホームページ開設
平成26年9月		第2回ワークショップ開催
平成26年10月		第3回ワークショップ開催
平成26年11月		町家・まちなみ写真展実施
平成26年12月		まちなみ再生支援制度等アンケート実施
平成27年1月		第2回まちなみガイドライン作成分科会開催
平成27年2月		第3回まちなみガイドライン作成分科会開催
平成27年3月	街なみ環境整備方針・事業計画策定	協議会総会開催



歴史的なまちなみ勉強会の様子



まちなみガイドライン作成分科会の様子



ワークショップの様子

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
ザビエル公園再整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成28年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 ザビエル公園は昭和24年(1949)に開設し、現在、開設面積は1.47haの近隣公園である。当該地は、16世紀半ばに、フランシスコ・ザビエルの布教活動にかかわった豪商の屋敷跡につくられたといわれる歴史ある公園であり、紀州街道の沿道に位置する。この公園について、歴史・文化を感じながら市民や来訪者が憩え、周辺のまちなみと調和した地域の拠点公園として再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度 ・試掘調査を行い、旧紀州街道や中世における海岸線の遺構を確認した。
 平成26年度 ・現況調査を行い、既存公園施設の問題点等を整理した。
 ・試掘調査、現況調査結果を踏まえ、歴史・文化を感じることができるような公園の再整備に向けた基本計画を作成した。
 ・基本計画の内容を基に設計に着手した。

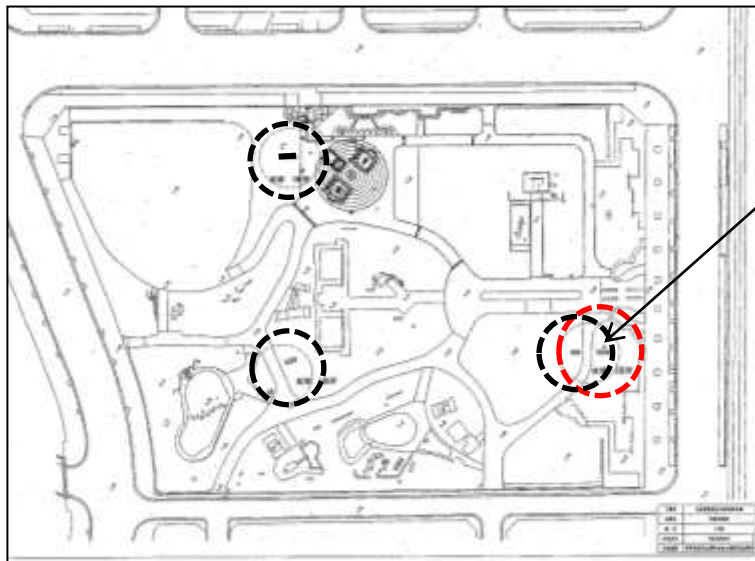
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■試掘位置図



■試掘状況写真



■現況調査(現況評価図)



評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 平成25年度及び26年度	現在の状況
宿院町公園再整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成24年度～平成28年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	宿院町公園は昭和25年(1950)に開設され、現在、開設面積0.24haの街区公園である。このような公園について、園内の樹木等を整理するなど良好な景観の形成を図り、歴史を感じながら市民や来訪者が憩える公園として再整備を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

平成26年度 ・現況調査を行い、既存公園施設の問題点等を整理。
 ・現況調査結果を踏まえ、良好な景観の創出に資する公園施設の改修・再整備に向けた基本計画を作成。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■現況調査写真(樹木調査)



■樹木調査表

樹木調査表									
公園番号: 400-019		公園名称: 宿院町公園							
記号	名称	H(高さ)	C(幹周) 単位:m		W(枝張り) 単位:m			外観診断	
		単位:m	C	幹本数	W1	W2	W(平均)		
落葉樹	サ1	サクラ	-	-	-	-	-	-	公園事務所で危険木と判断し、伐採済み、現地に切株あり
	サ2	サクラ	7.00	1.10	1	12.70	12.70	12.70	比較的健全である
	サ3	サクラ	6.50	0.82	1	9.30	9.30	9.30	比較的健全である
	サ4	サクラ	6.50	1.40	1	12.20	12.20	12.20	主幹に傾斜があり、精密診断のうえ、今後観察が必要
	サ5	サクラ	7.50	1.40	1	13.00	13.00	13.00	地際から50cmの位置に20cm内外のコブが見られる。精密診断のうえ、今後観察が必要
	サ6	サクラ	6.40	0.85	1	10.00	10.00	10.00	地際から2mの位置に開口空洞がある。今後腐朽の進行が懸念される。精密診断が必要
	サ7	サクラ	6.40	1.15 0.75	2	12.50	12.50	12.50	根株近くに照明灯があり、撤去時には根系保護の必要あり。
	サ8	サクラ	7.00	1.05	1	14.30	14.30	14.30	開口空洞があり、コフキタケの子実体が見られた。被圧あり。伐採を検討
	サ9	サクラ	7.00	1.00	1	10.00	10.00	10.00	2本立ちの1本が伐採されている。切戻しが必要。傾斜木として今後観察が必要
	サ10	サクラ	-	-	-	-	-	-	公園事務所で危険木と判断し、伐採済み、現地に切株あり。根株心材腐朽につき、抜根
	サ11	サクラ	6.80	1.60	1	16.20	16.20	16.20	剪定痕に子実体が出現。根元にガードリングルート。伐採を視野に精密診断が必要
	サ12	サクラ	6.80	1.50	1	14.80	14.80	14.80	根元と大枝の剪定痕に子実体が見られる。太根にも腐朽が進行している。伐採を検討
	サ13	サクラ	6.80	1.58	1	16.60	16.60	16.60	根元のサークルを撤去し、根系保護のうえ、今後経過を観察すること。
	サ14	サクラ	7.60	1.25 0.90	2	17.00	17.00	17.00	周辺整備の際は、根系保護のうえ、今後経過を観察すること
	サ15	サクラ	5.70	0.85	1	6.70	9.30	8.00	比較的健全と思われる

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
阪堺線停留場美装化事業	平成25年度及び26年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成25年度～平成34年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	○阪堺線停留場の美装化 ・環濠都市区域内の宿院停留場の美装化(上屋、ホームの改修等)を実施

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成25年度 宿院停留場改修工事設計
- 平成26年度 宿院停留場改修工事認可申請
- 平成27年度 宿院停留場改修工事着工及び工事竣工

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



整備前



整備後 (完成予定パース)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
紀州街道沿道の景観づくり(阪堺線沿道の植栽帯の改善)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～平成28年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 旧紀州街道にあたる大道筋は、古くから栄えた堺を南北に走る約2.5kmの幹線道路であり、付近には、山口家住宅や千利休屋敷跡などの歴史的資産がある。また、道路幅員約50メートルの中心には阪堺線の軌道敷があり、その軌道敷と車道部の間に植栽帯を設け、片側に低木の植栽、反対側に花壇の組み合わせで交互に設置しているが、花壇の維持管理や緑のまちなみ景観の形成に課題があることから、紀州街道沿道の景観づくりとして沿道の植栽帯の改善を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度
 ・現況調査を行い、既存植栽帯等の問題点等を整理した。
 ・現況調査結果を踏まえ、阪堺線沿いの植栽帯等を、周辺に調和し、歴史・文化を感じることができるような景観の再整備に向けて、基本計画を作成した。(植栽帯:景観改善のためにヒラドツツジを植栽計画、電停付近花壇:歴史・文化を感じることができるような植栽計画、看板等の設置。)
 ・基本計画の内容を基に設計に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあつての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■位置図(整備区間)



■現況調査写真①(植栽帯状況 戎之町付近)



■現況調査写真②(電停付近花壇状況 寺地町付近)



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
百舌鳥古墳群に関する情報発信		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成17年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 百舌鳥古墳群を将来にわたり末長く保存・管理していくためには、市民はもちろん、国内外にその価値と魅力を情報発信していく必要がある。①インターネットによる情報発信 本市のホームページにおいて百舌鳥古墳群の価値や魅力をCGなども活用し紹介。②シンポジウムや講演会の実施 市民向け講演会や、海外からの有識者を招きシンポジウムを開催するなど、百舌鳥古墳群の価値や魅力を紹介。③パンフレットやポスターによる情報発信 他言語によるパンフレットを作成し、関西国際空港での配架をはじめ、ポスターも作成し、様々な場所でPRを実施。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①本市ホームページを活用し、タイムリーな情報発信をおこなった。また、プロモーションムービー(日本語・英語・中国語・ハンガール版)を掲載するなどし、映像を活用したPRにも努めた。
- ②シンポジウムや講演会の開催
 平成25年10月26日(土)、第3回国際シンポジウム(藤井寺市立市民総合会館) 参加者293人
 平成26年3月1日(土)、第7回世界遺産講演会(堺市産業振興センター) 参加者100人
 平成26年11月24日(月・休)、第4回国際シンポジウム(四天王寺大学大講堂) 参加者580人
- ③他言語版パンフレットやポスターを作成し、PR効果が見込める場所に配架・掲出を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後は百舌鳥古墳群に関心のない層に対してのPRを強化する必要がある。また、市内のみならず、府内はもとより、関西、全国へと百舌鳥古墳群をPRする必要がある。

状況を示す写真や資料等

◎プロモーションムービーを掲載(堺市ホームページ)

http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/rekishi/sei/promotion_movie/1600nenfull.htm



第3回国際シンポジウム(藤井寺市立市民総合会館)



多言語版リーフレット
(日本語・英語・中国語・ハンガール版)



関西国際空港で英語版ポスター(デジタルサイネージ)を掲出

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
百舌鳥古墳群周遊案内板の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 百舌鳥古墳群に親しみながら周遊できるよう、来訪者の利用が見込まれる鉄道駅や周遊ルートで、市内外からの来訪者にとってわかりやすい案内板の設置計画を策定し、整備に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・周遊案内板の整備に関する基本的な考え方を整理。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存のサインを含めた意匠の統一

状況を示す写真や資料等

■周遊案内板の整備に関する基本的な考え方

○サイン種別 内容 設置位置

- ・大拠点サイン：市域・地区・周辺案内、資源解説を掲載する総合的な案内サイン(地区へのゲートとなる鉄道駅近傍)
- ・拠点サイン：地区と周辺の案内サイン(周遊路上の主要結節点)
- ・周辺案内サイン：設置位置周辺の案内サイン(拠点サインの補完必要箇所)
- ・誘導サイン 施設：資源誘導サイン(周遊路上主要結節箇所)
- ・記名・解説サイン：各施設・資源の名称、解説表記(各施設)

(参考)



既設案内サイン

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成28年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民や来訪者に百舌鳥古墳群の歴史的意義や価値を理解していただき、古墳群の保護意識を醸成するため、古墳群について学び、その雄大さを体感できるガイダンス施設を大阪府立大学旧大仙キャンパス跡地に整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度に(仮称)百舌鳥古墳群ガイダンス施設予定地として取得した大阪府立大学旧大仙キャンパス跡地(旧大阪女子大学跡地)に残る既存校舎の解体工事に着手。
効果的なガイダンス施設のあり方や土地の有効活用という点から、施設の基本計画を検討中。
施設整備までの暫定的な措置として、平成26年3月、堺市博物館内に百舌鳥古墳群ガイダンスコーナーを設置。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	基本計画の検討にあたり、施設規模、機能、幹線道路からの進入路等について、検討が更に必要になったため、事業期間を平成31年度までに変更する。また、校舎解体工事を完了するとともに、施設の基本計画を早期に策定し、バス等の大型車も通行できる新たな進入路の整備に着手する。

状況を示す写真や資料等

百舌鳥古墳群ガイダンスコーナー(堺市博物館内)



百舌鳥古墳群シアター(外観)



百舌鳥古墳群シアター(内部)



百舌鳥古墳群展示コーナー



位置図

評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成25年度及び26年度
環濠都市区域内における案内板の改善			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成18年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	神社や寺社を中心に設置している既存の施設案内板について、見やすさや分かり易さなどに配慮した案内板とするため、表示内容の見直しや多言語化を行い、歴史文化資源などの魅力発信と目的地への円滑な移動を誘導する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

既存の施設等案内板を改修。2カ国語(日・英)から4ヶ国語(日・英・中・韓)に修正し、写真等を挿入することでより分かり易い案内内容とした。
 <実績>平成25年度:18基、平成26年度:23基

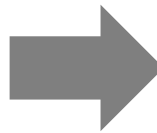
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	来訪者の市内周遊につなげて行く必要がある。

状況を示す写真や資料等

【改修状況】



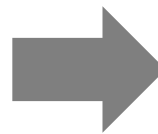
改修前



改修後



改修前



改修後

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
史跡・重要文化財等公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成10年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	非公開の史跡や重要文化財の公開等を実施し、また歴史文化についての講座を開催し、広く市民に文化財の普及啓発を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

春季堺文化財特別公開 平成26年4月4日～6日 南宗寺等10か所 来場者数5,060人
 秋季堺文化財特別公開 平成26年11月14日～16日 21日～24日 鉄砲鍛冶屋敷等11か所 9,095人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



平成26年春季文化財特別公開

平成26年秋季文化財特別公開

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
コミュニティサイクルポート整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成26年度
支援事業名	防災・安全交付金(道路事業)
計画に記載している内容	環濠都市区域にコミュニティサイクルポートを整備することにより回遊性を向上させ、歴史的風致に触れあえる機会を増やし、歴史的風致の維持向上につなげる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・さかい利晶の杜内にラック式無人サイクルポートで15基のラックを設置
- ・さかいコミュニティサイクル「延べ出庫台数」:平成23年度 55,653台、平成24年度 105,659台、平成25年度 124,303台 平成26年度 184,968台

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



文化観光拠点(さかい利晶の杜)に設置したサイクルポート



サイクルポート設置事例

評価軸③-22
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成25年度及び26年度
自転車通行環境の整備			現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成26年度～		
支援事業名	防災・安全交付金(道路事業)		
計画に記載している内容	歩行者・自転車利用者の安全を確保するため、自転車通行環境の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
自転車通行環境整備(自転車レーン)の整備を実施した。 錦南宗寺線における自転車レーンの整備 実施済み0.5km/計画延長1.6km 三宝高須線における自転車レーンの整備 実施済み0.7km/計画延長0.7km(100%完了)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



自転車レーン整備状況

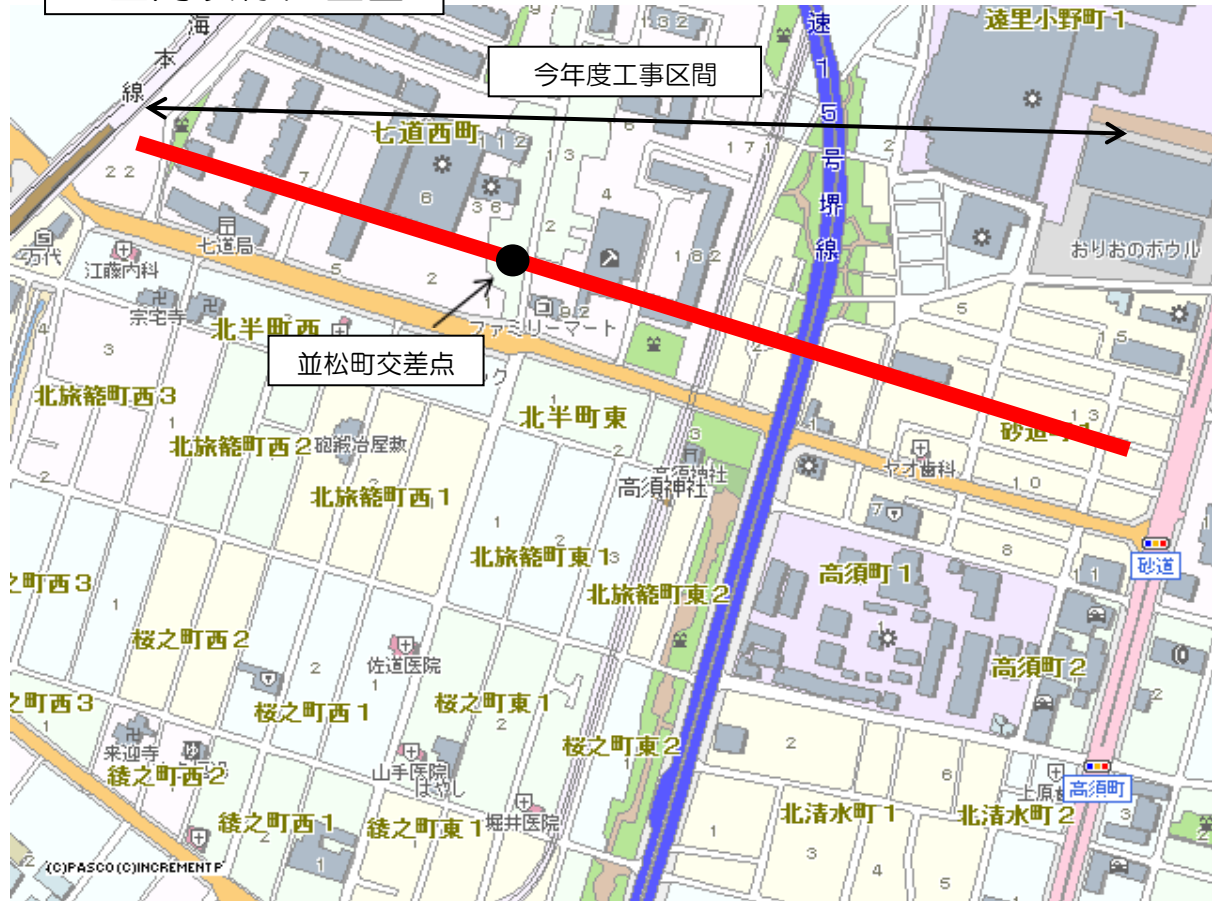


施工前



施工後

三宝高須線位置図



自転車レーン整備状況



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
文化観光拠点整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 旧市街地の中心に位置する旧市立堺病院跡地において、堺の特色ある文化を振興するため、千利休などをテーマとする文化施設、及び堺観光の玄関口としての観光案内施設等を整備する。
千利休展示室の整備に併せて、千利休が大成した茶の湯を実際に体験できる茶席空間を整備し(茶の湯体験部門)、茶の湯に気軽にまたは本格的に触れることができる”おもてなし”の場を創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

予定より早く千利休と与謝野晶子をテーマとした展示室、観光案内施設、茶の湯体験施設を備えた文化観光施設である「さかい利晶の杜」や、来訪者サービス施設の整備を進めた。また、周辺道路の無電柱化工事や道路整備工事などの整備もあわせて実施。これら施設は、外観への伝統的な切妻屋根の採用など和風の設えをもったものとなっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



文化観光拠点(さかい利晶の杜 北側)



文化観光拠点(さかい利晶の杜 東側)

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
学校教育の場での茶の湯体験(堺スタンダード事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成17年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	千利休生誕の地・堺に育つ子どもたちが「茶の湯」の体験を通じて、自国の伝統文化を知るとともに、茶道において大切にされている「もてなしの心」や人とのかかわり方を学び、豊かな心を育むことをねらいとして「茶の湯体験」を実施する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

平成25年度は、小学校93校、中学校32校で茶の湯体験を実施。
 平成26年度は、小学校90校、中学校32校で茶の湯体験を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

大仙公園「日本庭園」での茶の湯体験の様子



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
		項目	現在の状況
		文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	指定および登録等の候補となる文化財に関する調査を継続する。市域の文化財の総合的な把握をより推進するとともに、文化財指定等を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年11月20日 堺市指定無形文化財 石津太神社のやっさいほっさい 指定 平成27年3月末日 「国史跡百舌鳥古墳群保存管理計画」策定予定			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



堺市文化財保護審議会



やっさいほっさいの様子
(石津太神社)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度 平成25年度及び26年度

項目 現在の状況

文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

町家等の歴史的建造物を、指定の基準に沿って歴史的風致形成建造物に指定し、所有者等の意向や建造物の損傷状態の調査を行い、保存・修理・修景に対する助成を行う。
百舌鳥古墳群では、整備基本計画を策定し、古墳の整備や修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

百舌鳥古墳群整備事業(再掲:評価軸③-1:P3を参照)
歴史的建造物保存修理事業(再掲:評価軸③-2:P4を参照)
視点場の整備に関する調査検討(再掲:評価軸③-9:P11を参照)
百舌鳥古墳群水質改善事業(再掲:評価軸③-10:P12を参照)
まちなみ再生事業(再掲:評価軸③-11:P13を参照)
百舌鳥古墳群周辺案内板の整備(再掲:評価軸③-17:P19を参照)
百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備(再掲:評価軸③-18:P20を参照)
環濠都市区域内における案内板の改善(再掲:評価軸③-19:P21を参照)
文化観光拠点整備事業(再掲:評価軸③-23:P25を参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



百舌鳥古墳群整備事業
収塚古墳調査の専門委員による現地指導



文化観光拠点整備事業
開館案内チラシ・ポスター

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財を災害から保護するため、防災意識の高揚、防災設備等の整備を図り、住民、文化財の所有者又は管理者等に対する防災意識の普及と啓発を進めるとともに、消防局並びに関西電力株式会社、大阪ガス株式会社と連携を行い、定期的に防災設備の保守点検等や啓発に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーの実施(所轄消防署、関西電力、大阪ガス 文化財課 合同査察実施)
 平成26年1月23日・24日 指定文化財寺社等 24箇所
 平成27年1月22日・23日 指定文化財寺社等 24箇所

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



H25年度 文化財防火デーの様子
 (登録有形文化財霜野家住宅)



H26年度 文化財防火デーの様子
 (重要文化財高林家住宅)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目	現在の状況	

埋蔵文化財の取扱い	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	---

計画に記載している内容
 周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発行為の実施にあたっては、開発に伴う文化財保護法に基づく届出又は通知の提出を徹底するとともに、開発に際して埋蔵文化財を確認した場合には、工法の検討や、計画変更によって埋蔵文化財の地下保存などの措置を協議し、遺構の保護に努めるほか、やむを得ない場合は、記録保存などの対応についても速やかに実施していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内には堺環濠都市遺跡、土師遺跡などの埋蔵文化財包蔵地があり、開発に対しては、届出または通知に基づき適切に指導している。
 平成25年度は、百舌鳥古墳群のなかにある長山古墳とニサンザイ古墳について、規模や形状の把握のために調査を実施した。長山古墳は、墳丘裾の葺石を確認し、全長110mの前方後円墳に復元することができた。ニサンザイ古墳は後円部北側の裾を確認し、後円部径を170mに復元することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



長山古墳の調査



ニサンザイ古墳の調査

評価軸④-5
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目	現在の状況	

文化財に関する普及・啓発の取組み、 民間団体への助成・支援や連携・協力した取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---	---

計画に記載している内容
本市の文化財の価値を広く後世に伝えるため、文化財の活用を進めながら観光ボランティアガイドをはじめとする各種団体等と連携を行い、普及・啓発するための機会の提供に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み(再掲:評価軸③-3:P5を参照)
 堺市地域文化遺産活用活性化事業(再掲:評価軸③-4:P6を参照)
 ボランティアガイドの育成・支援(再掲:評価軸③-5:P7を参照)
 百舌鳥古墳群に関する情報発信(再掲:評価軸③-16:P18を参照)
 史跡・重要文化財等公開事業(再掲:評価軸③-20:P22を参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等



史跡・重要文化財等公開事業
堺文化財特別公開パンフレット



観光ボランティアガイドの育成・支援

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
報道等タイトル		年月日	掲載紙等
関連 連定	堺市府内初の認定	平成25年11月26日	産経新聞
	堺の歴史まちづくり認定	平成25年11月28日	読売新聞
環濠都 市区 域関 連	堺包丁をPR 市が感謝状	平成26年1月19日	朝日新聞
	堺の町家 残す生かす	平成26年1月25日	日経新聞
	堺刃物まつり	平成26年2月9日	MBS毎日放送
	伝統の「堺緞通」紹介 山口家住宅で資料展示	平成26年2月17日	産経新聞
	華麗ひな飾り うっとり 堺の2施設で企画展	平成26年3月3日	産経新聞
	さかいの魅力を創出・発信	平成26年3月20日	毎日新聞
	堺の名品 新たに4点	平成26年4月23日	朝日新聞
	堺と包丁1400年の歴史	平成26年6月18日	NHK
	ありのままのお祭り再び	平成26年7月3日	朝日新聞
	茶の湯体験心豊かに	平成26年7月11日	読売新聞
	川渡る神輿に歓声 住吉大社神事	平成26年8月2日	朝日新聞
	与謝野晶子と線香の関連紹介 堺の山口家住宅などで企画展	平成26年9月9日	産経新聞
	堺打刃物 名工の技 伝統工芸士会員26人の作品展	平成26年9月12日	産経新聞
	茶道聖地にもてなしの杜	平成26年10月5日	読売新聞
職人の町 堺	平成26年10月31日	NHK	
百舌 鳥関 連	愛される「仁徳さん」住民清掃続け8年	平成26年3月13日	朝日新聞
	百舌鳥古墳群ミニシアター開設	平成26年3月24日	NHK
	百舌鳥古墳群シアター開設	平成26年3月25日	産経新聞
	高校生が濠の水質浄化実験	平成26年8月21日	NHK
	ふとん太鼓18台 勇壮に 堺・百舌鳥八幡宮で月見祭	平成26年9月15日	産経新聞
文化 財・ 等関 連	堺の秘蔵文化財見て 今日から修復仏像や障壁画	平成26年11月21日	朝日新聞
	百舌鳥古墳群 国史跡に	平成25年11月16日	読売新聞
	世界遺産登録へ一歩 高さ規制案、市民ら歓迎	平成26年4月15日	広報さかい
	百舌鳥古墳群周辺世界文化遺産をめざし住民に規制を説明	平成26年5月24日	MBS毎日放送
	百舌鳥古墳群の保存管理管理計画案まとまる	平成26年12月19日	NHK
市 から の 広 報 関 連	文化観光拠点の愛称決定 さかい利晶の杜	平成26年5月1日	広報さかい
	豊かな歴史を持つ堺を誇りに 名誉大使 数内佐斗司さん	平成26年1月1日	広報さかい
	百舌鳥古墳の魅力再発見	平成26年5月1日	広報さかい
	世界に誇る歴史遺産・百舌鳥古墳群 市内外へ魅力を発信	平成27年1月1日	広報さかい
	春季堺文化財特別公開	平成26年4月1日	広報さかい
	市の無形民俗文化財に 石津太神社のやっさいほっさい	平成25年12月1日	広報さかい
	文部科学大臣が表彰 堺式手織緞通技術保存協会	平成25年12月1日	広報さかい
堺トラムで巡る 匠のまち堺	平成27年2月9日	堺シティレポ	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致の維持及び向上に記載される事業が行われ報道されることで、市民の歴史的風致に対する関心・認識が高まり「歴史遺産の保存・活用」への啓発に寄与していることが推察される。			
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
□計画の進捗に影響あり			
■計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

評価対象年度	平成25年度及び平成26年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 堺市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時： 平成27年3月23日(月) 午前10:00～11:30	
(コメントの概要)	
○歴まち計画の意義について、市民に広く伝えるシンポジウムや国際フォーラムなどの開催を、事業として検討されてはどうか。	
○百舌鳥では、世界遺産登録に向けて市民の機運を高めることが肝要であり、そのための情報発信を加速させることが重要。	
○まちなみ整備では、歴史的市街地における空き家対策事業が各地で重要な取り組みとなっている。歴史的風致との連動をふまえながら、古い建物を利活用する活動について、サポートする仕組みが必要ではなかろうか。	
○『歴史的風致』や『歴まちの事業』は、単にハードの部分だけではなく、むしろ職人さんの話や、技術の継承、あるいはお祭りといった歴史的資産を活かし、それと連動した形での”無形の部分”を大事にしていくといったところが大切であり、一つの特長といえる。	
○歴史的都市の復元に向け大切なこととして、一つめは『パブリックスペース、公共空間をどうデザインしていくか』。二つめは、『その都市が持っている歴史文化商品や歴史文化産業をどう生み出すか』、三つめは、『歴史都市を支える市民をどう育てていくか』が挙げられ、それが堺のいうシビックプライドと一致する。	
○このまちのハードとソフトが一体化し、私たちが受け継いでいく、そういう一連の公共空間、文化産業、文化商品、そして担い手を作るという枠組みなど、大きなフレームを捉え直して、もう一度堺らしい、大きな街からも色々な取り組みが出来るようご検討いただければ、ますます発展していくと思う。	
○商工会議所や市内企業との連携が大切。シビックプライドというのは市民だけではなくて、企業にとっても『堺で操業しているということが、ある一定の企業ブランドになる』という、そんな認識で展開していただければいいのではないか。	
○『古い時代に戻れということでも無く、次の歴史を作っていけるような、文化財そのものは守らないといけないけれど、それをベースとしながらも、より良い歴史的な環境を生み出していく』というところをもう少し意識されても良い。	

(今後の対応方針)

推進会議を立ち上げ、部局間において活発な意見交換をおこなうなど、着実に庁内連携が強化されており、協議会でのご意見等を踏まえ、今後も更に拡がりを持てるよう取り組んでいく。